

農泊をめぐる状況について

令和3年9月

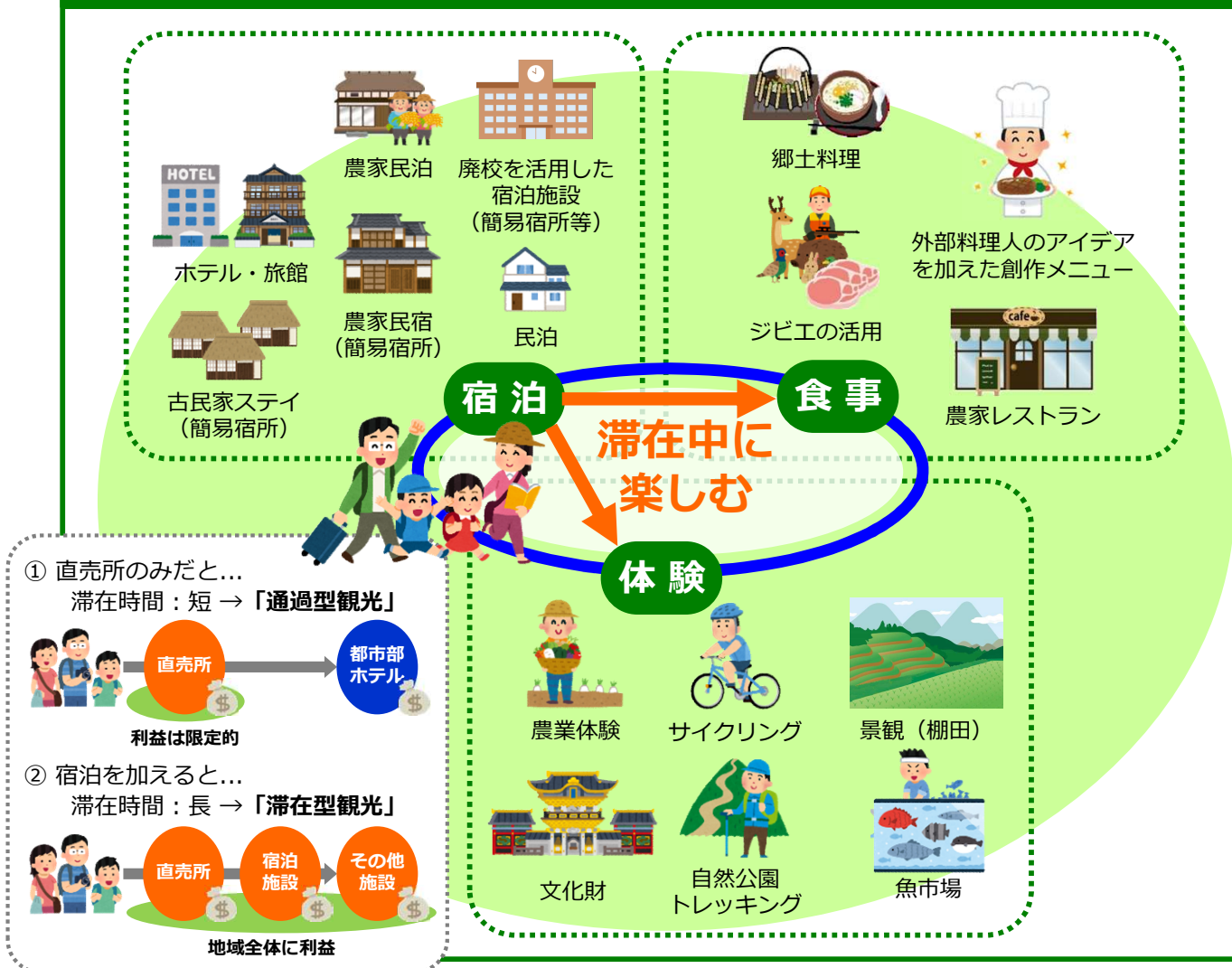
農林水産省

農村振興局

農泊推進対策で目指す農泊推進地域の体制

- 「農泊」とは、
【利用者】 農山漁村地域に宿泊し、滞在中に地域資源を活用した食事や体験等を楽しむ「農山漁村滞在型旅行」。
【提供者】 地域の中で「宿泊」、「食事」、「体験」を提供できる形を備えていることが必要。
- 宿泊を提供することで、旅行者の地域内での滞在時間を延ばしつつ、滞在中に食事や体験など地域資源を活用した様々な観光コンテンツを提供して消費を促すことにより、地域が得られる利益を最大化。
- そのためには、地域の関係者が一丸となって、農泊をビジネスとして取り組むことが重要。

農泊（農山漁村滞在型旅行）



農泊推進体制

法人化された**中核法人**を中心として、多様な関係者がプレイヤーとして**地域協議会**に参画し、**地域が一丸となって取り組む**。

地域協議会

中核法人※



※ 中核法人の主たる事業は、農林漁業関連、観光協会等の非営利事業、体験・ガイド、宿泊事業等

農林水産関連の主な地域資源

<和食>



<SAVOR JAPAN>



神楽料理/宮崎県



もち料理/岩手県

<漁家民宿>



京都府与謝郡伊根町

<農家民宿>



福井県鯖江市

<ジビエ>



<漁港めし>



都屋の海人丼/沖縄県

食

宿泊

<古民家>



京都府南丹市美山町

<農作業体験>



ミカン狩り

ミカン狩り/鹿児島県出水市



野菜収穫体験
/熊本県菊池市

体験

景観+α

<日本農業遺産>



複合的果樹システム
/山梨県

<かんがい施設遺産>



通潤橋
/熊本県山都町

<自然体験>



フットパス
/北海道鶴居村



カヌー体験
/宮崎県延岡市

<文化体験>



茶道体験
/鹿児島県出水市



紙漉き
/福井県越前市

<棚田>



白米千枚田
/石川県輪島市

<世界農業遺産>



長良川上中流域
/岐阜県

<美しい森>



純の森
/京都府京都市

食事

Meal

LOCAL CUISINE



そば / 長野県信濃町



グリーンカレー / 鹿児島県瀬戸内町



創作料理 / 香川県三豊市



海鮮料理 / 岩手県釜石市



海鮮料理 / 香川県三豊市



おしゃれな昼食 / 島根県大田市



おしゃれな朝食 / 広島県尾道市



おにぎり / 熊本県菊池市



囲炉裏料理 / 長野県信濃町



家庭料理 / 熊本県菊池市



創作料理 / 山梨県小菅村

CREATIVE CUISINE



ちゃんこ鍋 / 鹿児島県瀬戸内町



郷土料理 / 福井県鯖江市

LOCAL SPECIALITY



鶏さし / 京都府南丹市



創作料理 / 香川県三豊市



おしゃれな朝食 / 島根県大田市



浜焼き / 千葉県いすみ市



お宝膳 / 京都府宮津市



川魚料理 / 愛媛県内子町



姿造り / 香川県三豊市

and more...

体験 Experience

天体観測 / 北海道八雲町



フットパス / 北海道鶴居村



着付け / 鹿児島県出水市



漆器絵付け / 福井県鯖江市

ミカン狩り / 鹿児島県出水市



きりたんぼづくり / 秋田県大館市



カヌー体験 / 宮崎県延岡市



レイルバイクライド / 秋田県大館市



牛車体験 / 鹿児島県出水市



FOOD

ほうとうづくり / 山梨県甲州市



豆腐づくり / 北海道帯広市



ホースセラピー体験 (森林セラピス産業) / 長野県信濃町



茶道体験 / 鹿児島県出水市



CULTURE

STRINGチーズづくり / 北海道鶴居村



餅つき / 岩手県遠野市



NATURE

SUP体験 / 岩手県釜石市



曲げわっぱづくり / 秋田県大館市



野菜収穫体験 / 熊本県菊池市



マーマレードづくり / 和歌山県田辺市



沿岸トレイル / 岩手県釜石市



サイクリング / 広島県尾道市



紙漉き / 福井県越前市



and more...

宿泊 Lodging



ゲストハウス
北海道鶴居村



コテージ
茨城県行方市

Other attractive accommodations



ゲストハウス
北海道帯広市



空き家リノベホテル
香川県三豊市



グランピング施設
千葉県香取市



廃校リノベゲストハウス
岩手県釜石市



古民家宿
山梨県甲州市



古民家リノベゲストハウス
新潟県新潟市

Renovated accommodations



空き家リノベホテル
広島県尾道市

Traditional farmhouses



古民家宿
京都府南丹市



蔵リノベホテル
栃木県那珂川町



古民家リノベホテル
山梨県小菅村



農家民宿
岩手県遠野市



農家民宿
福井県鯖江市



古民家リノベホテル
長野県南木曾村

and more...

風景



溪流
／熊本県菊池市



サンセット
／北海道留萌市



鳥羽・志摩の
海女漁業と真珠養殖業
／三重県鳥羽・志摩地域



武蔵野の落ち葉堆肥農法
／埼玉県武蔵野地域



下津蔵出しみかんシステム
／和歌山県海南市下津地域



農村風景
／岩手県遠野



棚田／三重県津市



絵のような絶景
／香川県三豊市



静岡水わさびの伝統栽培
／静岡県わさび栽培地域



「大崎耕土」の巧みな水管理システム
／宮城県大崎地域

温泉



温泉とサンセット
／山梨県甲州市



あば温泉
／岡山県津山市



阿蘇の草原の維持と持続的農業
／熊本県阿蘇地域



にし阿波の傾斜地農耕システム
／熊本県にし阿波地域



能登の里山里海
／石川県能登地域



黒湯温泉
／千葉県大多喜町



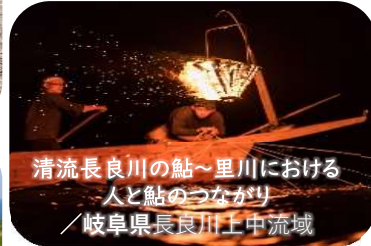
和倉温泉
／石川県七尾市



二股らぢうむ温泉
／北海道長万部町



高千穂郷・椎葉山の山間地農林業
複合システム
／宮崎県高千穂郷・椎葉山地域



清流長良川の鮎～里川における
人と鮎のつながり
／岐阜県長良川上中流域

世界かんがい施設遺産



菊池のかんがい用水群
／熊本県菊池市



雄川堰／群馬県甘楽町



通潤用水／熊本県山都町



立花用水／三重県多気町



足羽川用水／福井県福井市

日本農業遺産

世界農業遺産

and more...

採択地域数 (R2年度末時点累計) : **全国計 554地域**

近畿 54地域

滋賀県	6	兵庫県	11
京都府	13	奈良県	11
大阪府	5	和歌山県	8

北陸 56地域

新潟県	21
富山県	10
石川県	14
福井県	11

北海道 44地域

東北 81地域

青森県	11	岩手県	14
宮城県	23	秋田県	11
山形県	11	福島県	11

中国四国 83地域

鳥取県	8	山口県	7
島根県	14	徳島県	4
岡山県	14	香川県	8
広島県	16	愛媛県	6
高知県	6		

関東 107地域

茨城県	5	栃木県	10
群馬県	9	埼玉県	6
千葉県	19	東京都	5
神奈川県	9	山梨県	9
長野県	19	静岡県	16

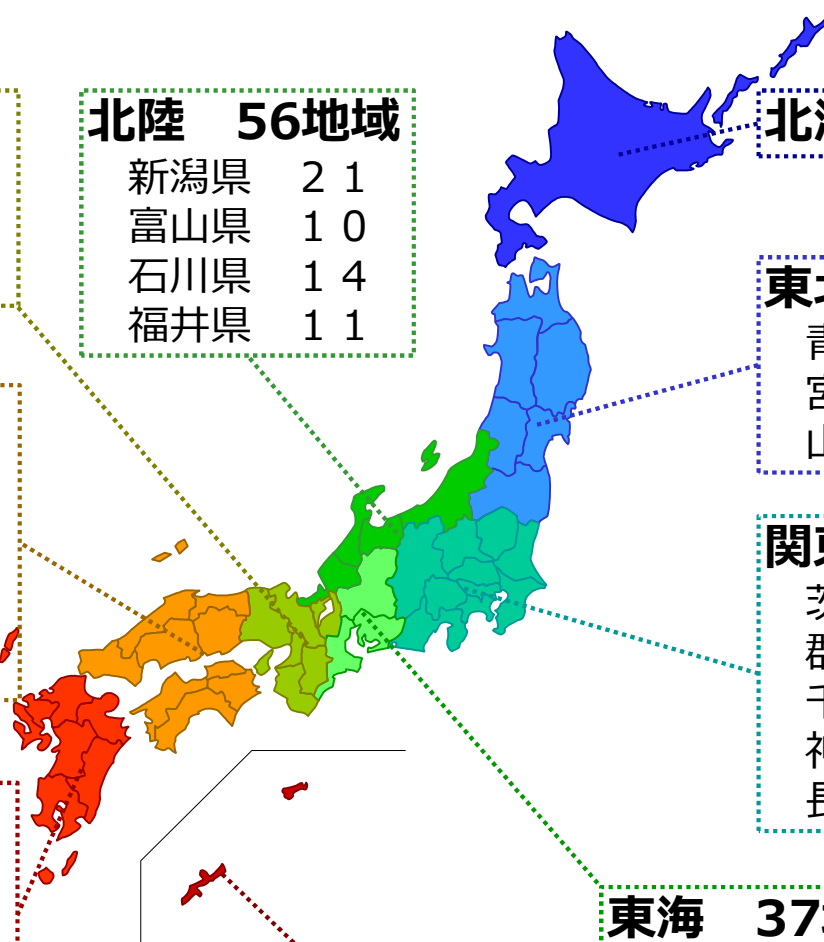
九州 81地域

福岡県	13	佐賀県	6
長崎県	10	熊本県	21
大分県	6	宮崎県	6
鹿児島県	19		

沖縄 11地域

東海 37地域

岐阜県	15	愛知県	6
三重県	16		



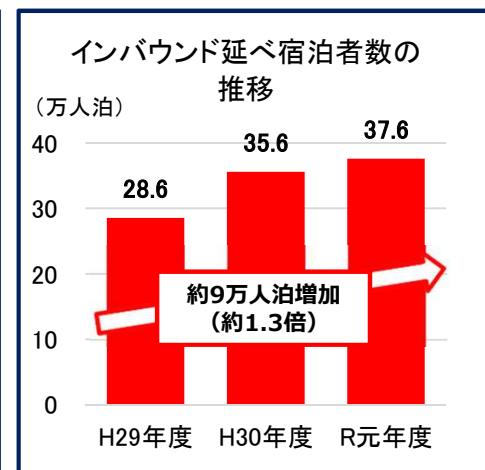
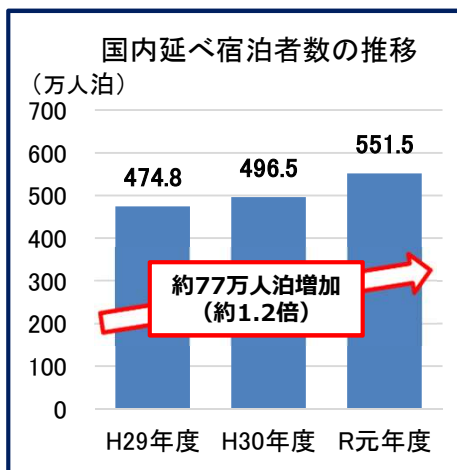
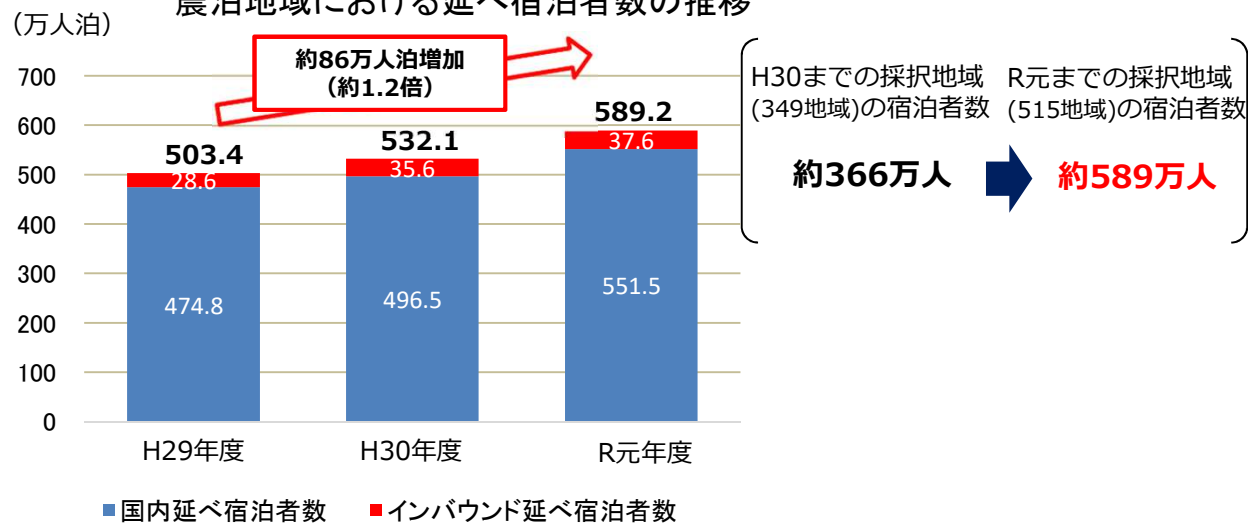
農泊の取組状況 (令和元年度までに採択した515地域を対象に調査)

- 令和2年度末時点において、**全国554の農泊地域を採択**し、①利用者がイメージする「農泊」らしい滞在施設・体験プログラム等の増加等、コンテンツの質の向上・量の拡大、②Wi-Fi設置、キャッシュレス決済の導入など利用者の利便性の向上、③地域一体となった農泊推進体制の構築等に取り組んでいるところ。

宿泊者数

- ・延べ宿泊者数は、平成29年度の**503万人泊**から令和元年度には**589万人泊**に**86万人泊**増加し**約1.2倍**に増加。
- ・うち、**国内旅行者**は**77万人泊**増加し、**約1.2倍**へ増加。**インバウンド**は**9万人泊**増加し、**約1.3倍**へ増加。

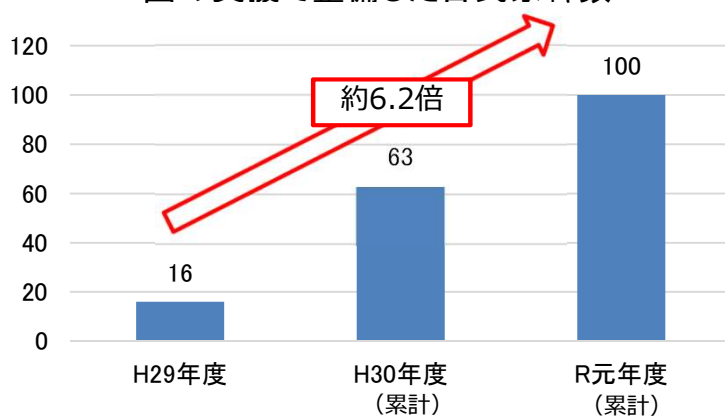
農泊地域における延べ宿泊者数の推移



宿泊施設

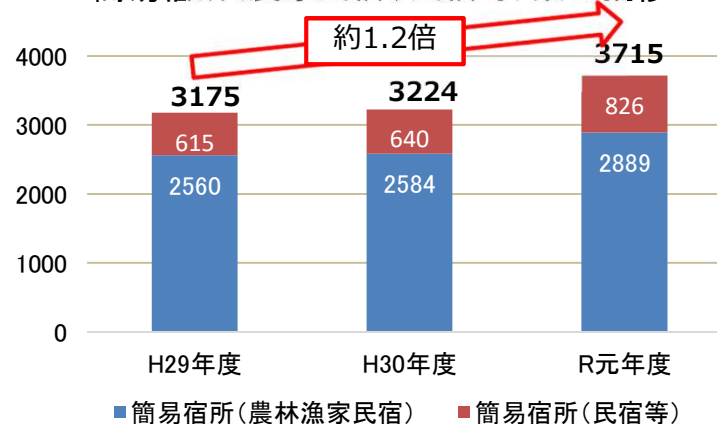
- ・国が支援して整備した古民家は、平成29年度の**16軒**から令和元年度（累計）には**100軒**へ**約6.2倍**に増加。
- ・個人旅行者のニーズにも対応した農家民宿の数は、平成29年度の**3,175軒**から令和元年度には**3,715軒**へ**約1.2倍**に増加

国の支援で整備した古民家軒数



古民家宿泊施設「美十八」
(京都府南丹市)

簡易宿所(農家民宿、民宿等)数の推移

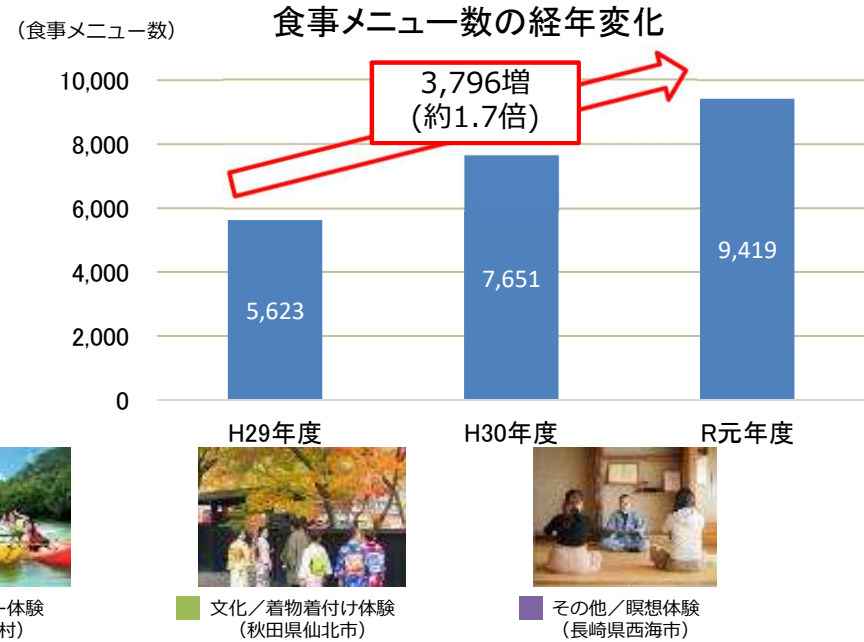
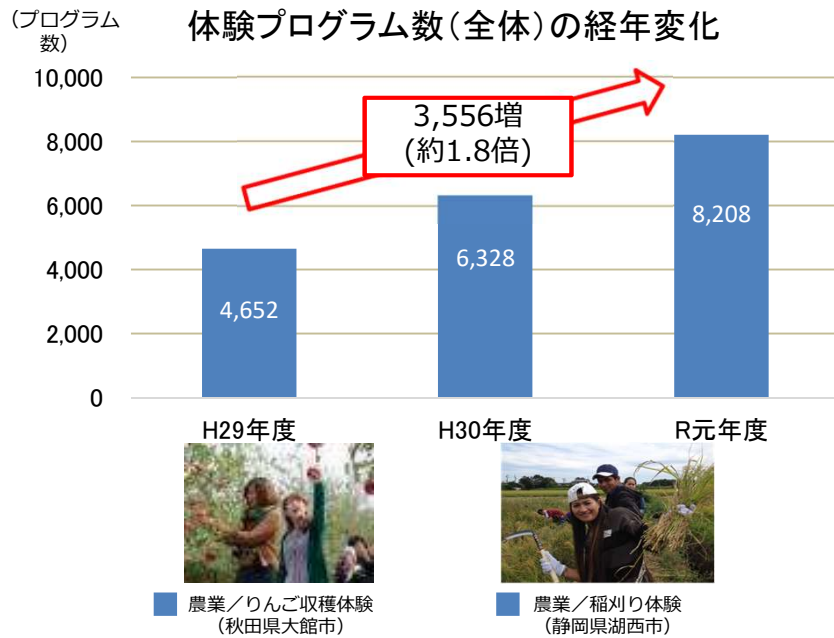


農家民宿
(石川県能登町)

農泊の取組状況（令和元年度までに採択した515地域を対象に調査）

体験・食事

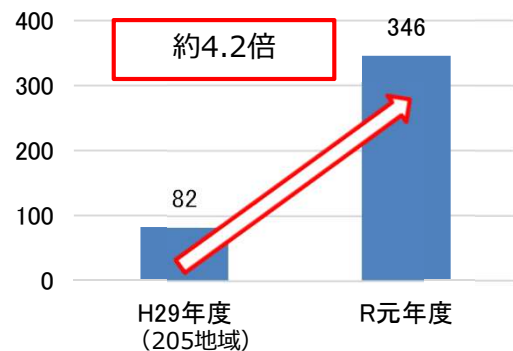
- ・体験プログラム数は、事業実施に伴い増加し、平成29年度の4,652から令和元年度の8,208へと**3,556増加し約1.8倍に増加**。
- ・また、食事メニュー数は、同様に増加し、平成29年度の5,623から令和元年度の9,419へと**3,796増加し約1.7倍の増加**。



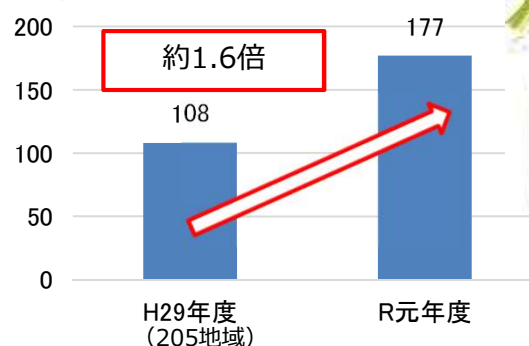
利用者の 利便性の向上

- ・Wi-fiや洋式トイレ、キャッシュレス決済へ対応している地域は、平成29年度の82から令和元年度の346へと**約4.2倍に増加**。
- ・ホームページ等で外国語対応を行っている地域については、平成29年度の108から令和元年度の177へと**約1.6倍に増加**。

Wi-Fi、洋式トイレ、キャッシュレス決済への対応 が一部でも可能となっている地域数の割合



外国語対応（ホームページ設置、表示板等） が一部でも可能となっている地域数の割合



農泊地域におけるR元年5月～1月の利用実績調査

○最初の緊急事態宣言時におけるR元年5月～1月までの宿泊等の影響について、コロナの影響が顕著であった農泊地域を対象にアンケート調査を実施。

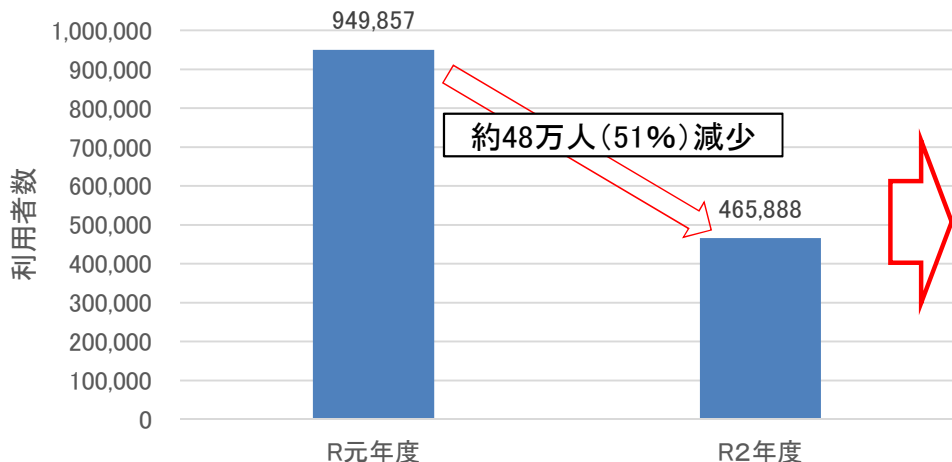
今般、回収した130地域における5月から1月（9ヶ月）の宿泊実績

(有効回答130地域)

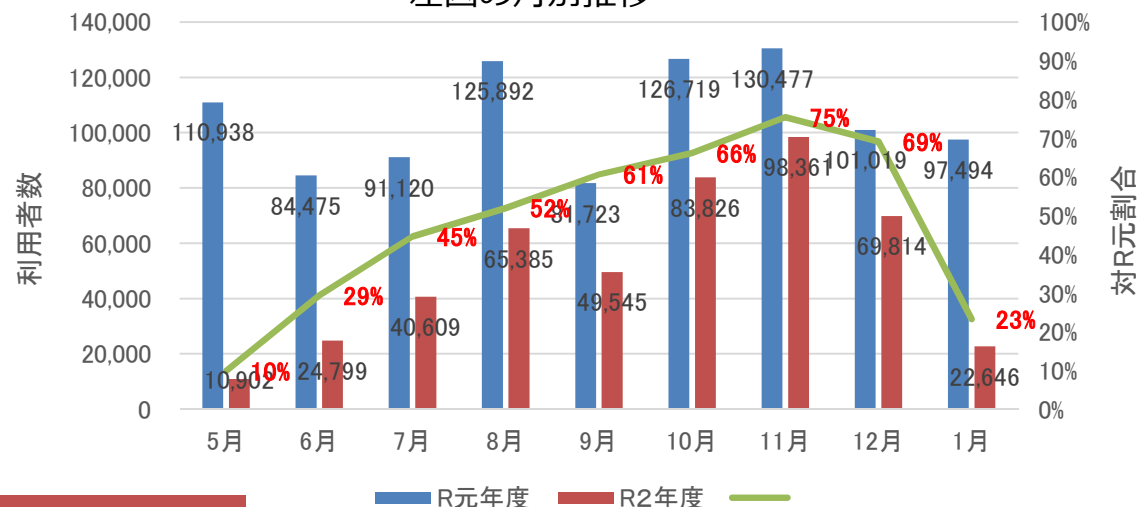
宿泊施設利用者

- ・延べ宿泊者数は、令和元年度の約95万人泊に対し、令和2年度には約47万人泊へと約48万人泊減少し約51%の減少。
- ・月別では、11月には対前年比約75%まで増加していたが、情勢を受けて徐々に下降し、1月には対前年比約23%まで減少。

5月-1月期の利用者の推移（合計）



左図の月別推移

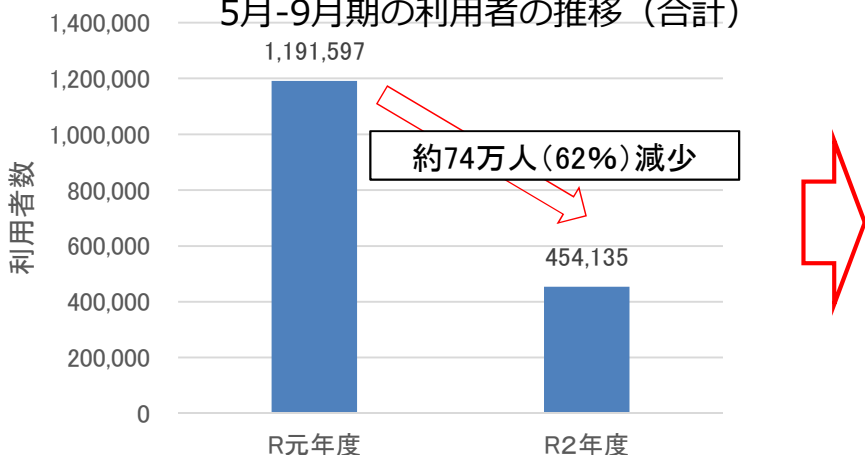


(参考) R2.10に回収した337地域における5月から9月（5ヶ月）の宿泊実績

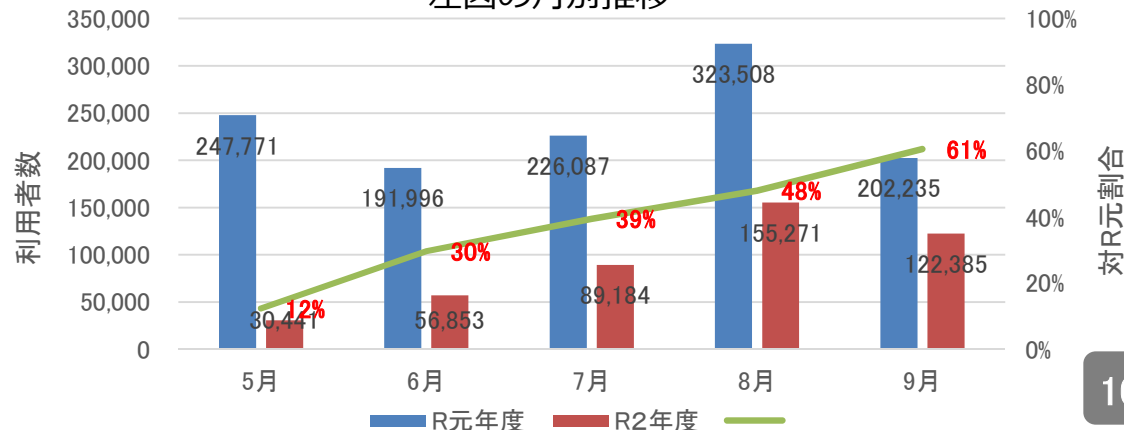
(参考) 宿泊施設利用者

- ・延べ宿泊者数は、令和元年度の約119万人泊に対し、令和2年度には約45万人泊へと約74万人泊減少し約60%の減少。
- ・月別では、5月に対前年比約12%まで減少していたが、徐々に回復傾向にあり、9月には対前年比約61%まで増加。

5月-9月期の利用者の推移（合計）



左図の月別推移



農泊関係アンケート（①コロナを踏まえた農泊へのニーズ）

- 令和2年6月に、東京、大阪、名古屋の在住者1,000人を対象に行われた調査によると、コロナの影響下において、60%の人が三密を避け開放的な農山漁村への旅行を希望。特に20代・30代ではその傾向が顕著であり、約70%が農山漁村への旅行を希望。
- 近隣への旅行(マイクロツーリズム)やワーケーション、リモートワークの目的地としても農泊へのニーズが高まっている。

調査概要

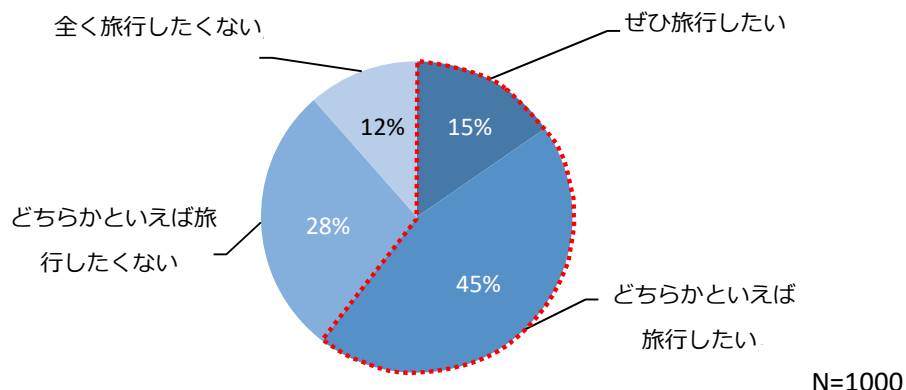
調査者：株式会社 百戦錬磨

調査手法：インターネットアンケート調査

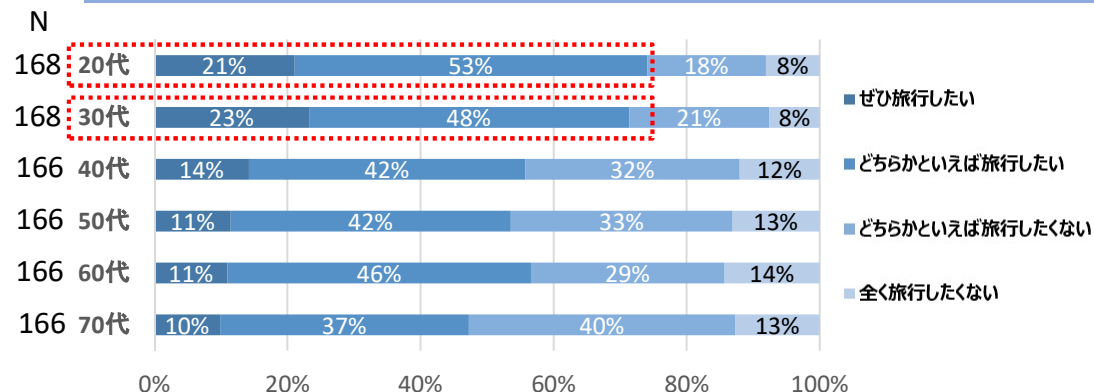
調査対象：東京23区、大阪市、名古屋市の在住者1,000人

調査日：令和2年6月25日

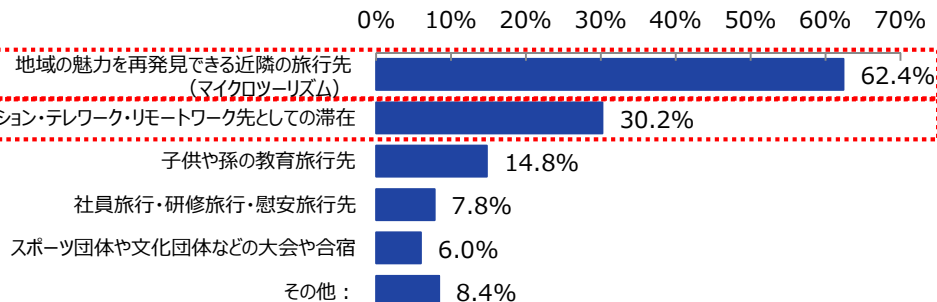
Withコロナ期における農山漁村地域への旅行意欲



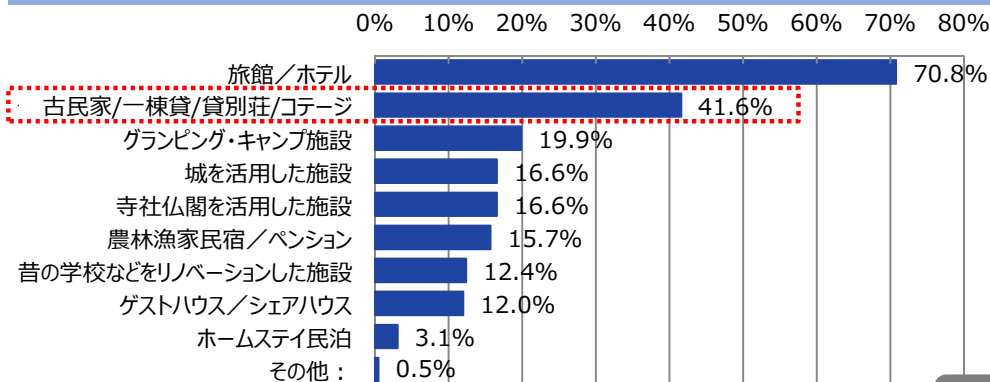
Withコロナ期における農山漁村地域への旅行意欲（年齢別）



新しい生活様式を踏まえた農山漁村地域への旅行目的



農山漁村地域で泊まりたい宿泊施設



農泊関係アンケート (②旅行において楽しみにしていること)

- 令和2年9-10月にJTBが実施した調査によると、農山漁村に行ったことがある、または、行ってみたいとする人のうち**82.6%**が食を楽しみにしており、**自然・景観**、**歴史・文化**を楽しみにしている人の割合もそれぞれ**49.2%**、**47.1%**と高い。
- これらは旅行者一般に対する調査における同種の項目への関心割合（食41.1%、自然・景観47.6%、歴史・文化37.2%）に比べて高い。

調査概要

調査者：株式会社 JTB

調査対象：東京都23区・愛知県・大阪府在住の20歳～69歳の男女で、旅行で農山漁村に行ったことがある、または行ってみたい人1,000人

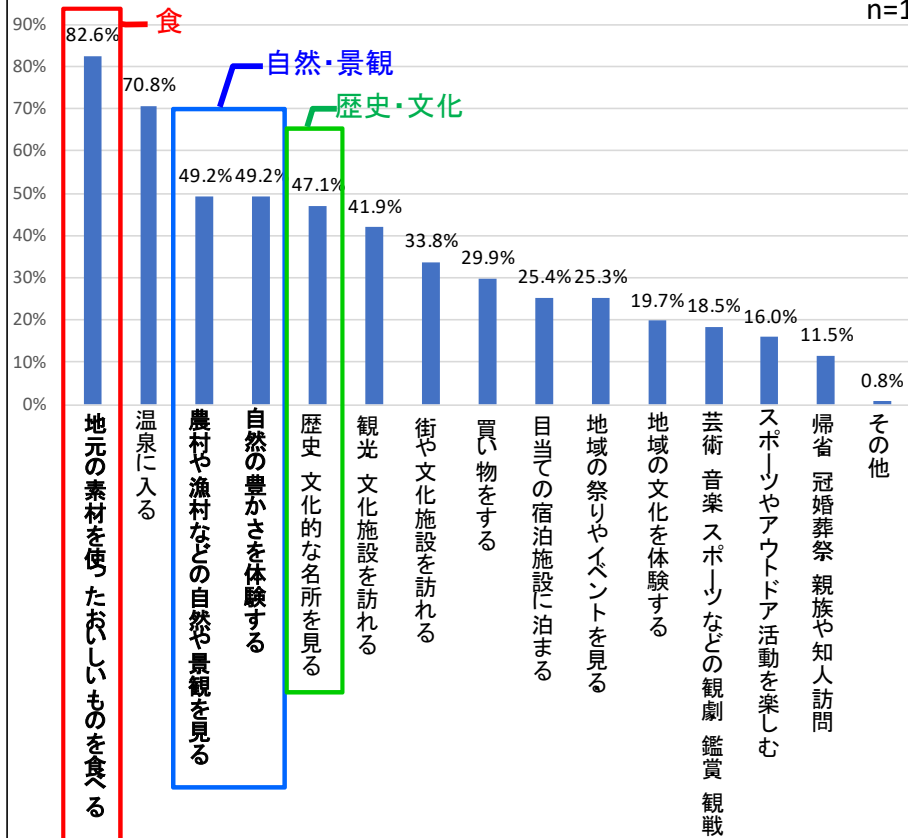
調査手法：インターネットアンケート調査

調査期間：令和2年9月30日(水)～10月2日(金)

旅行において楽しみにしていること

〔調査対象：農山漁村に行ったことがある人・または行ってみたい人〕

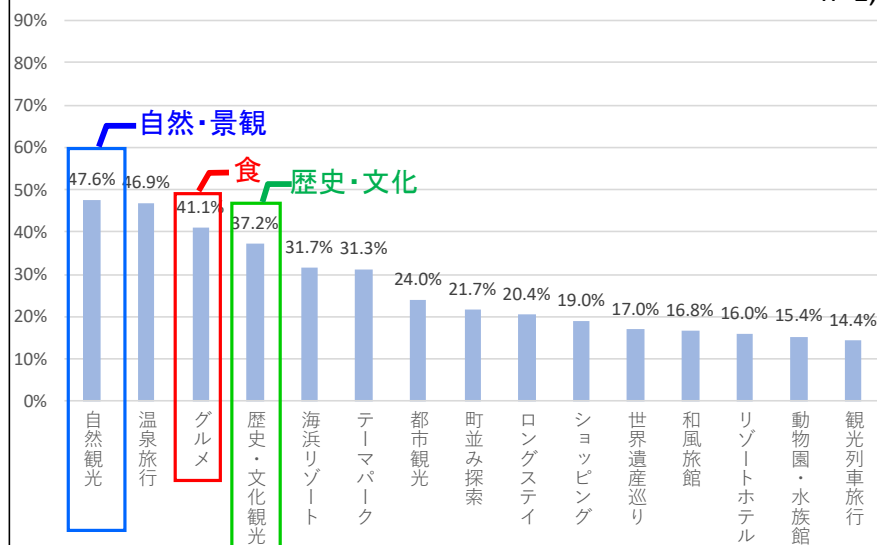
n=1,000



(参考) 今後1～2年間で行ってみたい旅行タイプ

〔調査対象：全国の18～79歳の男女〕

n=1,472



出典：JTB「新型コロナウイルス感染症流行下の日本人旅行者の動向」(令和2年5月)
※上位15位までのものを抽出

農泊関係アンケート (③ワーケーションの実施場所としての農山漁村)

- ワーケーション実施場所として、農山漁村に魅力を感じている企業は34.5%にのぼる
- 農山漁村の地域資源としては、自然・景観を楽しむ、密でない自然・空間、食材や郷土食体験に高い魅力を感じている

調査概要

調査者：株式会社 JTB

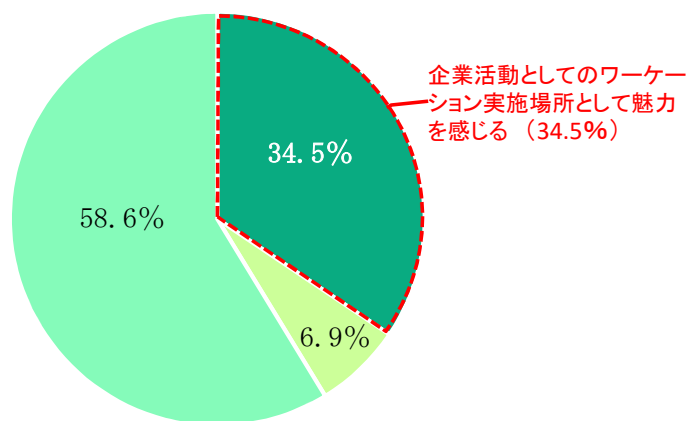
調査対象：首都圏の大手企業29社（部門）

調査手法：インターネットアンケート調査

調査期間：2020年9月14日～10月8日

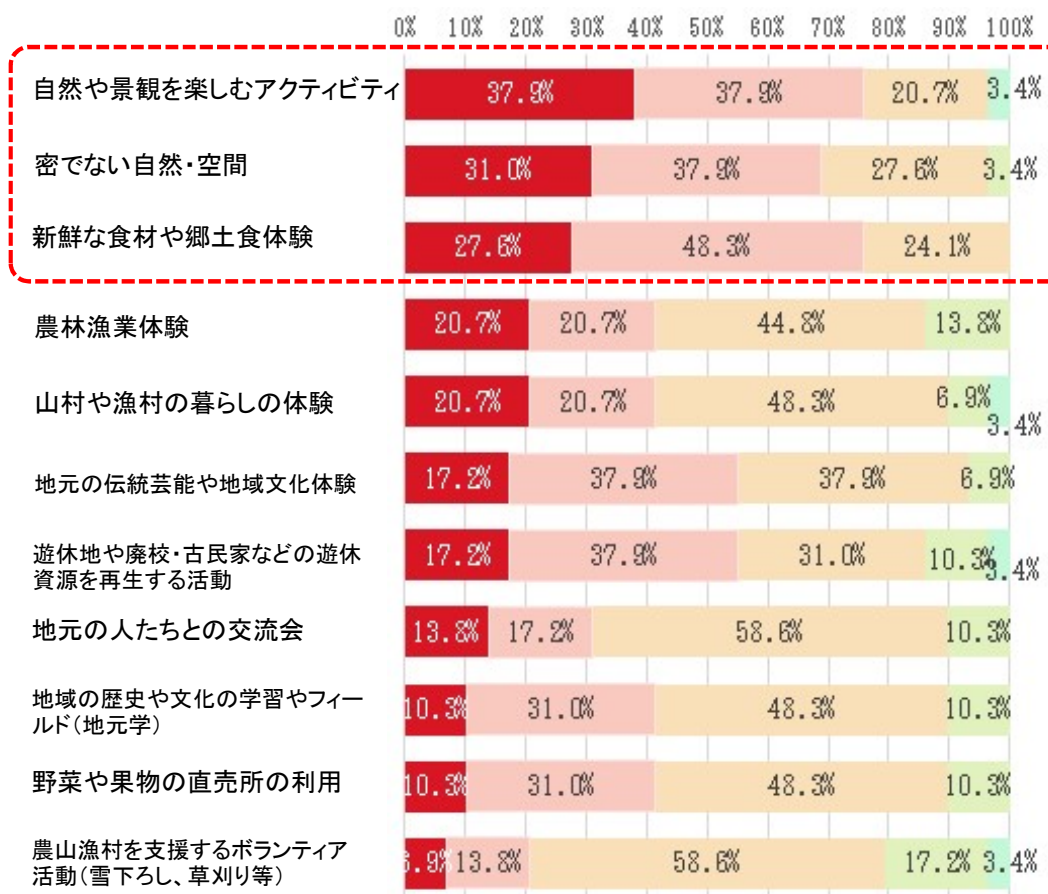
企業活動としてのワーケーション実施場所としての農山漁村の魅力

■魅力を感じる ■魅力を感じない ■わからない



農山漁村の地域資源としての魅力

■:大変魅力を感じる ■:魅力を感じる ■:魅力を感じることもある
 ■:魅力にあまり感じない ■:魅力に全く感じない



農泊地域におけるワーケーション事例（令和2年度実績）

宮城県〈蔵王農泊振興協議会〉

- ・空き別荘を民泊に活用、無線LANやリビング等を完備
- ・コロナ禍の中で、ワーケーション目的で6組(計340人泊)が滞在(R2年4月～R2年8月)
- ・宿泊者は、長期滞在し、余暇を楽しみつつ、リモートワークを実施

宿泊者（居住地）	宿泊人数	属性	宿泊日数	延べ宿泊者数
邦人（東京）	大人3名	職場同僚	30日	90人泊
外国人（東京）	大人5名	家族	27日	135人泊
邦人（千葉）	大人2名	夫婦	14日	28人泊
外国人（東京）	大人2名、子供2名	家族	12日	48人泊
邦人（東京）	大人2名、子供1名	家族	7日	21人泊
外国人（東京）	大人2名、子供1名	家族	6日	18人泊

(計340人泊)



空き別荘を民泊に活用



リモートワークの様子



ダイニングキッチン



リビング

長崎県〈雪浦ニューツーリズム協議会〉

地域活性化のための**アプリ開発に取り組むチーム**が訪問。協議会が自然体験、郷土料理体験など提供。（4人、2泊、定期的に予約あり）



郷土料理体験



自然体験

福岡県〈うきは福富古民家まちづくり協議会〉

建築・広告関係企業等が会議と**福利厚生の一環**で、古民家コワーキング施設（flatfromUKIHA）で会議後、古民家宿を利用。余暇で地元産バーベキューやカヌーを体験。（11人、1泊）



会議状況



地元産バーベキュー



カヌー体験

■ 様々な農泊（農泊における上質なインバウンド向け地域）

なぎそ
南木曽「ウェルネス農泊」推進協議会（長野県南木曽町）

- 概要**
- 古民家を改修し、宿泊・飲食・体験プログラム実施施設として整備
 - 国内の和食シェフやスローフード発祥の地イタリアから一流シェフを招聘し、地域食材などを活用した・和食・洋食のメニューを開発
 - オリンピックアスリートらのプロデュースによる、景観や自然などを生かした体験プログラム開発



漆仕上げの床、栗の木の椅子



滝で遊ぶキャニオニング



地域食材によるスローフード



重要伝統的建造物群保存地区
 つまごじゅく
 「妻籠宿」

具体的なプラン

<Zenagi>
 ○貸切プラン 1泊2食・1体験付き 350,000円 / 4名まで
 プライベート・シェフ／専属バトラー／専属ガイド付

たわらもとちょう かわひかし
田原本町川東地域資源活用協議会（奈良県田原本町）

- 概要**
- 元皇室御用達の醤油蔵元屋敷を宿泊、食事、体験施設として改修
 - 地域内の村屋神社での巫女舞体験や、神社敷地内の天然記念物の森でのたけのこ収穫体験を開発
 - 醤油に関する体験や伝統文化体験、また、醤油や地元産食材を活用した料理メニューを開発



醤油蔵元屋敷



村屋神社に伝承される代々神楽



天然醸造醤油と
 地元食材による創作料理



蔵元にて醤油醸造体験

具体的なプラン

<NIPPONIA 田原本マルト醤油>
 ○貸切プラン 1泊朝食・1体験付き 25,000円～ / 4名まで
 夕食は提携レストランでの提供(申込制、料金別)

地域資源を観光コンテンツ化している農泊の事例

(一般社団法人ツーリズム高千穂郷：宮崎県)

- 自然景観や農業遺産等を活用して、効果的に周遊できる散策ルートの設定、楽しみながら周遊できる手段（サイクリング、カヌー、ハングライダー、フットパス等）の提供、ガイドによる歴史・自然背景の解説等による高付加価値化のための取組を実施

地域における背景

地域独特の「山間地農林業複合システム」(右写真参照)が平成27年に世界農業遺産に認定されたが、観光資源として集客を図るには、それを学べるガイドの整備や体感できるプログラムの開発が必要。



取組の具体的内容

固有の農林業・自然・文化に付加価値をつけた“ジラス※ツーリズム”を展開。

※GIAHS: 世界農業遺産(Globally Important Agricultural Heritage Systems)のこと

○歩くジラス（フットパス&森林セラピー）の推進

景観・宿泊・食事・ガイドを充実させた10コースを厳選し「歩く世界農業遺産」として観光資源化。

○ジラスFULL里体験の実施

世界農業遺産である「山間地農林業複合システム」を構成する農林業、暮らし、祭り、伝統文化、芸能を宿泊と合わせてプログラム化。

○焼畑雑穀のオーナー制度実施

焼畑で育てる雑穀を収穫までの一定期間世話できるオーナー制度を通して、焼畑について学び、おいしく味わうコンテンツを提供。

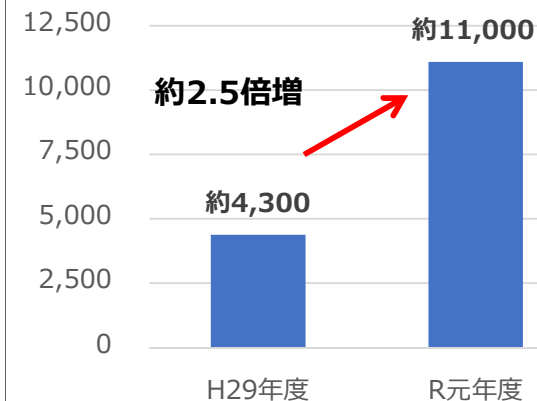
○地場産食材を使った料理の開発

地元の鳥獣を使ったジビエ料理や五ヶ瀬ワインといったご当地の食コンテンツを開発。

○椎葉村の棚田の観光資源化

写真コンテストでマチュピチュのような幻想的な姿をとらえた1枚が注目を集めたことにより「仙人の棚田」「椎葉のマチュピチュ」として観光資源化。

○農泊年間延べ宿泊者数の増加 (一般社団法人ツーリズム高千穂郷)



歩く世界農業遺産



「山間地農林業複合システム」の構成要素と合わせた体験プログラム



焼畑雑穀のオーナー制度



椎葉山地域のジビエ（猪肉）



椎葉村の棚田

【お問い合わせ先】
一般社団法人ツーリズム高千穂郷
〒882-1102 宮崎県西臼杵郡高千穂町
押方1248-25
Tel: 0982-82-2199
HP: <https://takachiho-go.jp/>

■ 今後の課題と対応（「農泊推進のあり方検討会」での検討結果）

課題

利用者に、農山漁村ならではの宿泊、食事及び体験・交流という独特のサービスをセットで楽しんでもらう仕組みづくりが課題。

① コンテンツの質の向上・量の拡大

宿泊

魅力的な古民家等の宿泊施設が少ない

利用者がイメージする「農泊」に合った宿泊施設の増加



古民家を活用した宿泊施設
(京都府南丹市)



内装を改修した農家民宿
(岡山県吉備中央町)

地域ごとの新しいコンテンツの開発



棚田トレッキングツアー
(岐阜県恵那市)



ワイン農場と乗馬体験
(静岡県伊豆市)

体験

体験プログラムの絶対数が少ない

食事

② 利用者の利便性向上

利用者がストレスなく情報にアクセスし、サービスを受けられる環境の整備

情報入手・予約とも、まとまりが乏しい

- 【旅行前】・ネット予約ができない
- 【旅先で】・各宿泊施設において、地域の体験プログラムを案内されていない。
- ・多言語対応・Wi-Fi整備などインバウンド対応（352地域中251地域が希望）が不十分

③ 農泊推進体制の強化

サービス提供側の人的資源を強化・集中

地域の人材不足

- ・各地域で核となっている事業者（宿泊事業者、体験事業者等）の人材が不足しており、地域も含めた、関係者全体で助け合う仕組みが必要

対応

農が基本であるという考え方を踏まえ、特に農林水産資源を有効に活用した宿泊、食事、体験の提供を強化。
また、利用者の利便性を向上するため、インターネット予約が対応可能な施設の拡大や宿泊施設を通じた情報提供の充実を図り、ストレスなくアクセスできる環境を整備。

宿泊施設の充実

- ・農山漁村地域らしい魅力ある農家民宿や古民家等の整備により宿泊施設を増加
- ・農家民泊を農家民宿へ再整備することなどにより、個人旅行者のニーズにも対応

農泊コンテンツの充実

- ・地元の農林水産資源を活用した農業体験や地元食材を使った料理メニューの開発などを強化
- ・温泉など農泊と親和性の高いコンテンツについても、テーマ別観光との連携を図ること等により、地域資源を活かした体験等プログラムを充実
- ・これまで開発したものを利用者の満足度等により評価し、商品としてより経済的な価値を生み出すことができるよう、専門家の助言を得て内容を充実

利用者の利便性の向上と情報発信

- ・宿泊施設等のインターネット予約について、民間の代行サービス等も活用しつつ、多言語も含めて対応可能な施設を拡大
- ・宿泊施設等が地域内の体験プログラム等の情報を利用者に適切に提供できる環境の整備
- ・デジタルマーケティング手法を活用した効果的なプロモーションを実施し、海外向け情報発信はJ N T Oに一元化。

地域の自立を促す人材育成、専門家等人的資源の投入

- ・経営能力の向上に向けた研修の開催や、農泊実践地域が抱える様々な課題に対応した専門家の現地への派遣
- ・地域内の若者や、地域に居住する外国人などの活用を推進

①コンテンツの質の向上・量の拡大について

- コロナ禍でもテーマ型や目的がはっきりした旅行はある程度好調であり、農泊はまだまだ伸び代がある。特にこれからは交流型が重要となるのではないか。
- かつての農村旅行から脱却し、個人旅行者や少人数での農山漁村での明確なテーマ型の来訪を惹きつける農泊であってほしい。
- 地方、東京で食べ物の均一化が起きている中、生きた郷土料理を食べられるのが農泊の魅力。
- 農家民宿は、教育旅行ばかりで個人向けの誘客ができていない。この分野でモデルとなるニッチトップの農家、施設をつくりあげていくためのサポートが必要ではないか。

②情報発信・利便性向上について

- 各農泊地域の宿泊施設や体験コンテンツが流通にのっていないのが大きな課題。オンライン予約への対応が必要。
- 販売商品化にあたって宿泊施設等の情報が霧散しており、情報集約に苦勞している。ひとつのプラットフォームで農泊地域の情報を一覧できると、旅行会社、一般ユーザーが農泊を選択するために役立つ。
- 個人旅行に焦点を当てると、農泊のイメージをより明確に世の中に訴えることが大事。海外向けのレベルの高いガイドブックの作成も必要ではないか。また、若者にはSDGsの切り口も効果的。

③体制強化について

- 人材不足・育成も課題であり、都市部で経験を積んだ人に農泊に携わってもらえるとよいのではないか。
- 農泊の宿泊、食事、体験をワンショットでアレンジしてくれる窓口が少ないので、DMOや協議会でこれを受けられる体制整備をお願いしたい。

④その他

- コロナの影響により、教育旅行をメインにした農泊地域など悲惨な状況になっているほか、農家民宿等のモチベーションの維持も課題。観光庁の既存観光拠点再生の事業のように、面的なサポートを農泊についても新たにつくるとよいのではないか。

■ 農泊における新型コロナウイルス感染拡大防止対策ガイドライン

- 「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」（新型コロナウイルス感染症対策本部 令和2年5月14日変更）以降、業界団体が感染症専門家に助言を受けながら作成。（国は情報提供・助言）
- 業種や施設の種別ごとに、各場面での留意点、対策等を規定しており、最新の状況・知見等に対応して、随時見直し。

農泊の特徴

- ・ 農泊は、**宿泊、食事、体験を一体的に楽しむ滞在型旅行**であり、関連する業態も、宿泊業や外食産業、さらには農林漁業体験、文化体験等、幅広い業種に及ぶ。
- ・ 特に宿泊は、ホテル・旅館をはじめ、**農林漁家民宿（家主居住型、一棟貸し）**など様々な形態。
- ・ また、農林漁家民宿では、**高齢者が経営してる場合も多い**。

農泊独自のガイドライン

- 「農泊施設における新型コロナウイルス対応ガイドライン」第3版
(一社)日本ファームステイ協会
- 「受入地域団体に求められる「新型コロナウイルス感染拡大予防」の取組」第6版**(一財)都市農山漁村交流活性化機構**



一般的な対策

- ・ **検温等の毎日の健康観察**を実施
- ・ **正しいマスクの着用、こまめな手洗い・手指消毒**の徹底
- ・ 客室、浴場、トイレなどの**共用スペースの消毒・換気を徹底**
- ・ 浴場、飲食施設等の**共用施設の利用時には、人数制限や時間制限**など、**3密対策**を徹底
- ・ 食事の際は、**個別提供する、座席を離す、対面に座らせ**ないなど、**飛沫防止対策**を徹底
- ・ **感染リスクが高まる「5つの場面」**や接触感染・飛沫感染・マイクロ飛沫感染の経路に応じた、感染防止策の実践



農泊独自の対策

- ・ 宿泊業、外食業、観光施設、旅行業界等の**ガイドライン**を基本に、農泊の実情を勘案
 - ・ 高齢の経営者にも使いやすいような**チェックリスト**を作成し、周知徹底
- (特に注意した点)
- ・ 最も重要な**清掃・消毒・換気**のプロセスへの重点配慮
 - ・ ドアノブ、スイッチなど**高頻度で接触する場所等**の**特定**と注意
 - ・ 入浴、食事などの**利用時間、入場人数の制限**などの実施
 - ・ 旅行会社や教育機関等に対し**施設の安全対策**について、ホームページ上にて公表することを含め、**事前に最新の情報を提供**

